

# 競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本競技会申し合わせ事項による。
2. コースについて  
コースは、輪島35km競歩路（1周1km）※道の駅ふらっと訪夢前発着の往復コース。

種目	周回数	スタート・ゴール場所
35km競歩	35回	ふらっと訪夢前
10km競歩	10回	
5km競歩	5回	
3km競歩	3回	

3. アスリートビブスについて
  - (1) 主催者が配布したアスリートビブスは胸と背にはっきりと見えるように配布された形をつける。
    - ①日本選手権（35km競歩）
      - ・アスリートビブスを4枚配布する。（チップ付きは2枚）
      - ・胸部に氏名・番号記載のチップ付きアスリートビブスを、背部には番号記載のアスリートビブスを付ける。
      - ・競技の時トレーニングシャツを重ね着する場合、同じ方法でその上に付けなければならない。  
その場合はチップの付いていないアスリートビブスを付けること。
    - ②全日本競歩（10km競歩・5km競歩・3km競歩）
      - ・アスリートビブスを2枚配布する。（1枚はチップ付きアスリートビブス）
      - ・胸部にチップ付きアスリートビブスを付ける。
  - (2) チップは競技終了後各自で外して、招集場所付近の所定の箱に入れること。  
(途中棄権、失格の場合はチップ付アスリートビブスを近くの競技役員へ返却すること。)
  - (3) アスリートビブスの色分けについて

## 【男子】

種目	色分け
日本選手権 35kmW	黄色布に黒字
全日本 10kmW	黄色布に黒字
ジュニア 10kmW	白色布に黒字
高校 5kmW	白色布に黒字
高校1・2年 3kmW	白色布に黒字
中学 3kmW	桃色布に黒字

## 【女子】

種目	色分け
日本選手権 35kmW	黄色布に赤字
全日本 10kmW	黄色布に赤字
ジュニア 10kmW	白色布に赤字
高校 5kmW	白色布に赤字
高校1・2年 3kmW	白色布に赤字
中学 3kmW	桃色布に赤字

## 4. 招集について

- (1) すべての種目の最終点呼場所は「ふらっと訪夢前バス停留所」とする。
- (2) 最終点呼時刻

4月15日（土）

競技開始時刻	部門	種目	最終点呼開始時刻	最終点呼完了時刻
12:20	女子中学	3Km競歩	11:45	12:05
	女子高校	(1・2年) 3km競歩		
13:00	男子中学	3Km競歩	12:25	12:45
	男子高校	(1・2年) 3km競歩		
13:40	男子全日本	10km競歩 (斉藤和夫杯)	13:05	13:25
	男子U20	10km競歩		
14:40	女子全日本	10km競歩 (斉藤和夫杯)	14:05	14:25
	女子U20	10km競歩		

4月16日(日)

競技開始時刻	部門	種目	最終点呼開始時刻	最終点呼完了時刻
8:00	男子日本選手権	35km競歩	7:30	7:45
	女子日本選手権	35km競歩		
11:35	女子高校	5km競歩	11:00	11:20
12:15	男子高校	5km競歩	11:40	12:00

(3) 招集・欠場届等の手順

- (ア) 最終点呼開始時刻までに最終点呼場所に集合し最終点呼を受けること。その後は役員の指示に従うこと。
- (イ) 審判員の誘導に従いスタート地点まで移動する。
- (ウ) 欠場者は競技者受付時もしくは点呼開始時刻までに欠場届をTICへ提出すること。  
その際計測用チップのついたアスリートビブスを返却すること。
- (エ) プログラム訂正は、訂正用紙を最終点呼開始1時間前までにTICへ提出すること。

5. スタートについて

- (1) スタートラインに並ぶ順は進行方向を向き、周回コース内側よりプログラムの記載の順序とする。  
(10kmについては進行方向を向き、周回コース外側に全日本、内側にU20の選手とする。)
- (2) 審判員の誘導に従いスタート地点に移動する。
- (3) スタート前の合図は5分前・3分前・1分前・30秒前・10秒前に行う。

6. 競技について

- (1) 下記の制限時間を経過して最終周回に入れない者、または競技運営及び交通事情に支障が出る場合は競技を打ち切る場合がある。(3km競歩については、競技打ち切り時間とする。)

【男子】

種目	制限時間
日本選手権 35kmW	3時間20分
全日本 10kmW	50分
U20 10kmW	50分
高校 5kmW	30分
高校1・2年 3kmW	25分
中学 3kmW	25分

【女子】

種目	制限時間
日本選手権 35kmW	3時間25分
全日本 10kmW	1時間00分
U20 10kmW	1時間00分
高校 5kmW	30分
高校1・2年 3kmW	25分
中学 3kmW	25分

(2) 飲料水、飲食物供給所について

- (ア) 35kmの飲食物受付は4月16日(日)午前7時00分から7時20分のあいだ飲食物受付(会場図参照)にて受付を行う。

○飲食物供給場所(スペシャルテーブル)を設置する。飲食物は主催者が許可した者(1チーム2名以内)が指定された場所と区域で手渡ししても良い。(コースに出たり追走して渡してはならない)

○飲食物は、壊れにくい容器にアスリートビブスの番号と氏名を明記すること。

ただし、主催者が許可したコーチ等が手渡す場合は受付の上、主催者が準備したビブスを着用して、決められた飲食物供給所に直接持参しても良い。(テーブル配置は特に計画指定しない。)

○ビブス(1チーム2枚まで)は飲食物受付にて配布する。ビブスの返却は競技者受付場所とする。

- (イ) 全ての種目でゼネラルテーブルとしてミネラルウォーターを1カ所準備する。

- (3) 審判長または医師から競技を止めるよう指示された場合は、ただちに競技を中止しなければならない。また、競技中に身体に異常・事故が発生した場合は、速やかに競技役員に申し出ること。
- (4) 助力については競技規則TR6に則ること。
- (5) フィニッシュは進行方向に向かって右側とする。(コーンで分けする)
- (6) ドーピング検査を指示された競技者は、フィニッシュ後速やかに係の指示に従うこと。
- (7) 失格および途中棄権した競技者は、直ちにチップ付アスリートビブスを取り外し近くの競技役員に渡すこと。
- (8) 競技役員の許可を得て、かつその監督下にある場合は、コースを離れたことにより走行距離が短くならないことを条件に示されたコースを離れることができる。(トイレ等を使用する場合)
- (9) ウォーミングアップや練習は、指定された場所で行うこと。コース上は禁止とする。
- (10) 35km・10km・5km競歩においてはペナルティーゾーンルールを採用する。ペナルティーを課せられたにもかかわらず何らかの事情でペナルティーゾーンに入ることができずにフィニッシュした場合は、フィニッシュタイムにペナルティーのタイムを加算したものを公式記録とする。なお、順位についてはペナルティーを加算されたタイムをもって判定する。
- (11) シューズについてはTR5および競技用靴規程を適用する。即ち靴底厚は40mm以下とする。

## 7. 表彰

- (1) 男女日本選手権 35 km 競歩の優勝者には優勝カップ、1位～3位にはメダル、1～8位には賞状を授与する。
- (2) 斉藤和夫杯・男女全日本 10 km 競歩の優勝者には、優勝カップと斉藤和夫杯、1位～3位にはメダル、1位～8位には賞状を授与する。  
男女U20 10 km 競歩、男女高校 5 km 競歩、男女高校 3 km 競歩、男女中学 3 km 競歩優勝者には優勝カップ、1位～3位にはメダル、1位～8位には賞状を授与する。
- (3) 表彰式予定時刻  
・プログラム記載時刻に準ずる

## 8. ドーピングコントロール

- (1) 本競技会は、ワールドアスレティックス(WA) アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会(時)ドーピング検査対象大会である。競技会(時)検査は大会前日 23 時 59 分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること。
  - (2) 競技会(時)検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。
  - (3) 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会へのエントリーにより、親権者の同意を得たものとみなす。
  - (4) 上記(3)にかかわらず本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者が署名した同意書を大会に持参すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名した当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。ドーピング検査実施時に親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング検査手続に一切影響がないものとする。
  - (5) 本競技会参加者は、JADA クリーンスポーツ・アスリートサイト(<https://www.realchampion.jp>、下のQRコード)を利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。
- 
- (6) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
  - (7) 競技会(時)・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となることに留意すること。
  - (8) TUE申請について  
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト(<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又はJADAのウェブサイト(<https://www.realchampion.jp/resources/000162.html>)を確認すること。禁止物質・禁止方法についてTUEが付与されている場合には、その証明書(コピーで可)をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること。
  - (9) WA アンチ・ドーピング規則および規程、日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、WA または JADA のウェブサイトにて事前に確認すること。

## 9. 競技場内で着用できる衣類と競技場内に持ち込める物

競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の様になっている。事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。

### (1) アスリートキット

- ① 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット  
○上衣 下衣 [それぞれ]
  - ・製造会社名/ロゴ: 一箇所 40cm<sup>2</sup>まで(高さ5cm)
  - ・スポンサー名/ロゴ: 一箇所 40cm<sup>2</sup>まで(高さ5cm)

・所属団体名/ロゴ、学校名/ロゴ：

上衣 前後 各一箇所

\*長さは問わないが、高さは 前：5 c m、後：4 c m

下衣 一箇所 高さは 5 c m

\*学校名/ロゴに関しては、上衣・下衣 大きさの規制なし

② 競技者が着用するあらゆるその他のキットや衣類など（靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc）

・製造会社名/ロゴ：（一つに）一箇所 6 c mまで（高さ3 c m）

・所属団体名/ロゴ：一箇所 6 c mまで（高さ3 c m）

・学校名/ロゴ、都道府県名/ロゴ：一箇所 大きさを問わない

(2) 個人の所有物およびアクセサリー

① タオル バッグ

・製造会社名/ロゴ：一箇所 40 c mまで（高さ5 c m）

・スポンサー名/ロゴ：二箇所 40 c mまで（高さ5 c m）

・競技者名/個人者ハッシュタグ：一箇所 40 c mまで（高さ5 c m）

\*バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち一箇所を以下に変更できる

所属団体名/ロゴ、学校名/ロゴ：一箇所

〔所属団体名/ロゴ〕 長さは問わないが高さは5 c m

〔学校名/ロゴ〕 大きさの規制なし

③ 飲料ボトル

・アスリートスポンサー名/ロゴ：二箇所 40 c mまで（高さ5 c m）

\*ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

## 10. その他

(1) 救護に関しては、救護車1台とAEDを数カ所に配置する。

(2) 練習中の事故等に関しては、主催者側では一切責任を負えませんので十分注意をすること。

(3) 本競技会は2021年4月修改正の日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」を適用する。（商標や電子機器などの規定を遵守すること）

(4) 記録証明書を希望する者は、成績発表後に500円を添えてTICに申し込むこと。

(5) 新型コロナウイルス感染症予防に関わる指示に従うこと。

大会本部

4月14日(金)～16日(日) 「輪島市文化会館内」 TEL(0768)22-7666